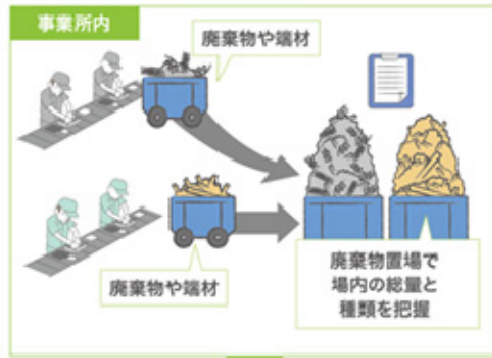


受賞者のその後の取組（平成 29 年現在）

平成17年度 国土交通大臣賞 受賞	受賞者名
	積水化学工業株式会社 住宅カンパニー
	所在地
	東京都港区
<p>1. 活動継続 あり</p> <p>生産工場、新築現場、リフォーム現場でのゼロエミッション達成後、特に生産工場と新築現場の廃棄物について排出量の削減活動（リデュース）を継続的に推進している。</p> <p>特に生産工場においては住宅1棟当りの廃棄物量を2004年度から2014年度でほぼ50%削減した。</p>	
<p>2. 活動の広がり あり</p> <p>生産部門と施工部門の経営体制一体化により、施工現場の廃棄物削減を連携推進している。</p> <p>①施工現場での未利用部材、端材等の廃棄物削減</p> <p>工場生産にて対応できない特殊仕様対応のために施工部門にて多めに部材発注する結果、未利用部材の一部を廃棄物として廃棄⇒特殊仕様の工場取込、適正必要量での発注等により施工現場廃棄物を削減。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; background-color: #d9ead3; padding: 5px;"> BEFORE 従来の調達方式 AFTER 調達方法の見直し </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生産-販売が一体運営となり、施工現場改善(工期短縮)が必要 </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特殊仕様の工場取込 ●ユニット内使用場所への部材積み込み ●未利用部材の調査と必要量発注 </div> </div>	
<p>3. 活動の進化 あり</p> <p>生産部門では社内マニフェストの運用、廃棄物の再生利用（製品化）等により廃棄物削減を推進している。</p> <p>①社内マニフェスト運用による廃棄物削減</p> <p>生産事業所内にて廃棄物発生場所から廃棄物保管場所へ運搬する際に社内マニフェストを記入（部署名、廃棄物種類、数量、発生要因等）、これを日々管理部門にて集約分析し、重要取組項目の立案、実施管理に活用。</p>	

BEFORE 発生要因が特定できず改善が未着手



マニフェスト (種類、数量)



廃棄物
処理業者

背景

- 後追いで発生時の状況が分からない
- 廃棄物削減の打ち手が検討できない

AFTER 日々の動向把握が可能に



POINT 社内マニフェスト (部署名、種類、数量、要因を記録)

マニフェスト (種類、数量)



廃棄物
処理業者

対応

- 廃棄物発生箇所です社内マニフェスト作成
- 日々管理部門で集約、動向もチェック可

②廃棄物のリサイクル製品化、社内利用による廃棄物削減

外壁パネル生産工場では製造工程からはパネルの端材など廃棄物が発生する。その端材は場内の設備で破砕、分級という処理により木チップと回収セメントに分けられ、木チップは製造ラインにもどされ再利用されるが、回収セメントは廃棄物としてセメント会社等に処理委託し、セメント原料として利用されていた。

そこで回収セメントと軽量骨材等を配合し、プレスしてセキスイハイムの床の振動を抑える為に取付される部品：制振錘（せいしんおもり）に製品化し廃棄物量を削減している。



回収セメント



フレコンバッグに回収



成型後の錘単体



制振材部品に組立

4. 今後の計画

- ・これまで建築現場で施工していた施工範囲の工場取込推進により、施工現場の廃棄物削減を推進する。
- ・広域認定制度の運用地域拡大により、生産・施工部門の改善活動を連携強化し、施工現場の廃棄物削減を推進する。

5. その他

- ・廃棄物の自己処理、自社リサイクルについて検討推進していく。

【表彰概要】

項目	概要
受賞者名	積水化学工業株式会社 住宅カンパニー
所在地	東京都港区
活動の区分	リサイクル
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1999 年度より生産会社のゼロエミッション活動を始め、2001 年度上期に全工場ゼロエミッション達成、続いて 2003 年上期に全国新築現場、2004 年度末で全国リフォーム現場のゼロエミッションを達成（廃棄物の埋立および単純焼却ゼロ）。 ・ 自社販売住宅について生産から新築現場、リフォーム工事（一般リフォーム含む）に至るまで一貫して全国レベル、全現場でゼロエミッションを達成した。 ・ 施工現場が散在し、ひと現場の廃棄物排出量が比較的少ない新築現場、更に工事種別が戸車の交換のごく小規模な工事から塗装工事のような中規模工事、キッチン・浴室改装のような大規模工事まであるリフォーム工事現場等、多種多様な工事に対応し、効率よく廃棄物処理を推進する為、各社各拠点にて自社専任社員による廃棄物回収、自社廃棄物保管場所の運用を推奨モデルとして全国展開している。